

平成26年3月期 第2四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	平25年3月期	平25年9月期	増減
連結子会社数	67社	68社	+1社
持分法適用会社数	25社	24社	△1社
合計	92社	92社	0社

宇部日東化成(無錫)有限公司  
フクセイ・ベンダーサービス(株)

2. 業績概要

(1)経営成績

(単位:億円)

注: 億円未満切捨て

項目	前年第2四半期 (H24.4~H24.9)	当第2四半期 (H25.4~H25.9)	増減
売上高	3,107	3,108	0
営業利益	161	90	△71
金融収支	△12	△10	2
持分法投資損益	5	3	△2
その他営業外損益	△7	△16	△8
経常利益	146	67	△79
特別損益	△5	※ 17	22
四半期純利益	84	66	△17

※負ののれん発生益 28 他

1株当たり四半期純利益	8円42銭	6円54銭	△1円88銭
-------------	-------	-------	--------

為替レート(円/\$)	79.4	98.9	19.5
ナフサ価格(円/KL)	55,200	64,700	9,500
豪州炭価格(円/t)*	10,327	11,011	684

\*豪州炭(CIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	セグメント	前年第2四半期 (H24.4~H24.9)	当第2四半期 (H25.4~H25.9)	増減
売上高	化成品・樹脂	1,093	1,097	3
	機能品・ファイン	321	320	△1
	医薬	56	41	△15
	建設資材	1,015	1,069	54
	機械・金属成形	343	348	4
	エネルギー・環境	354	277	△76
	その他	123	139	15
	調整額	△201	△185	15
	合計	3,107	3,108	0
営業利益	化成品・樹脂	38	△20	△59
	機能品・ファイン	18	4	△13
	医薬	19	4	△14
	建設資材	45	68	22
	機械・金属成形	16	23	7
	エネルギー・環境	26	6	△20
	その他	4	4	0
	調整額	△8	△0	7
	合計	161	90	△71

自社医薬品 売価改訂・数量減 他  
セメント国内販売数量増、生コン販売数量増 他  
成形機出荷増 他  
IPP収入減、石炭取扱数量減 他

カプロクタムスプレッド(製品と原料の値差)縮小 他  
販売価格低下、販売数量減 他  
自社医薬品 売価改訂・数量減 他  
セメント国内販売数量増、生コン販売数量増 他  
成形機出荷増、固定費減 他  
IPP収入減、石炭取扱数量減 他

(注)営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

## (2)財政状態

(単位:億円)

(借方)	平25/3末	平25/9末	増減	(貸方)	平25/3末	平25/9末	増減
現預金	362	281	△ 81	支払手形・買掛金	832	831	△ 1
売上債権	1,432	1,368	△ 64	未払金	325	253	△ 71
たな卸資産	817	912	95	有利子負債	2,466	2,460	△ 5
有形固定資産	3,237	3,253	15	その他負債	727	698	△ 28
無形固定資産	48	53	4	純資産	2,507	2,586	79
投資有価証券	407	440	32	(株主資本)	( 2,221)	( 2,322)	( 101)
繰延税金資産	173	169	△ 4	(その他の包括利益 累計額)	( △ 65)	( 33)	( 99)
貸付債権	11	15	3	(新株予約権)	( 5)	( 5)	( 0)
その他資産	367	338	△ 29	(少数株主持分)	( 347)	( 224)	( △ 122)
資産合計	6,858	6,831	△ 27	負債、純資産合計	6,858	6,831	△ 27

## (3)キャッシュ・フローの状況

&lt;参考&gt;

項目	平25年9月期		平24年9月期
営業活動による キャッシュ・フロー	億円 158	税引前四半期純利益 85、減価償却費 158、負ののれん発生益 △28 運転資金増 △8、法人税等支払 △50 他	億円 189
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 217	有・無形固定資産の取得 △188、関係会社株式の取得 △26 他	△ 181
財務活動によるキャッシュ・フロー (有利子負債) (その他)	△ 68 ( △ 10) ( △ 57)	配当金の支払 △54 他	△ 17 ( △ 48) ( 30)
現金及び現金同等物 期末残高	277		324

## 【トピックス】

## ー化成品・樹脂セグメントー

◆宇部に液化炭酸製造設備が完成 [平成25年8月]

## ー機能品・ファインセグメントー

◆堺のセパレーター設備が稼動 [平成25年5月]

◆米・ダウとの中国電解液合弁会社「AET張家港」が営業運転開始 [平成25年6月]

## ー医薬セグメントー

◆第一三共(株)、抗血小板薬「プラスグレル」の国内製造販売承認を厚生労働省に申請 [平成25年6月]

## ー建設資材セグメントー

◆大林組との超高強度繊維補強コンクリート「スリムクリート」を実工事に適用 [平成25年9月]

## ーエネルギー・環境セグメントー

◆インドネシアでPKSの低温炭化実証試験を開始 [平成25年7月]

## 3. 通期業績予想

(単位:億円)

項目	平25年3月期	平26年3月期	増減
売上高	6,260	6,470	210
営業利益	299	260	△ 39
経常利益	280	195	△ 85
特別損益	△ 122	△ 5	117
当期純利益	82	125	43

1株当たり当期純利益	8円22銭	12円05銭	3円83銭
------------	-------	--------	-------

年間配当金	5.0円	5.0円	0.0円
-------	------	------	------

為替レート(円/\$)	83.1	99.4	16.3
ナフサ価格(円/KL)	57,500	64,600	7,100
豪州炭価格(円/t)*	10,540	11,059	519

\*豪州炭(CIF)

## [セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	セグメント	平25年3月期	平26年3月期	増減
売上高	化成品・樹脂	2,193	2,300	107
	機能品・ファイン	611	680	69
	医薬	114	100	△ 14
	建設資材	2,083	2,180	97
	機械・金属成形	713	760	47
	エネルギー・環境	687	580	△ 107
	その他	252	260	8
	調整額	△ 396	△ 390	6
	合計	6,260	6,470	210
営業利益	化成品・樹脂	50	20	△ 30
	機能品・ファイン	12	20	8
	医薬	34	20	△ 14
	建設資材	114	145	31
	機械・金属成形	36	46	10
	エネルギー・環境	59	14	△ 45
	その他	10	10	0
	調整額	△ 19	△ 15	4
	合計	299	260	△ 39

合成ゴム・ナイロン樹脂販売数量増 他

販売数量増 他

自社医薬品 売価改訂・数量減 他

セメント国内販売数量増、生コン販売数量増 他

成形機出荷増、製鋼品販売数量増 他

IPP収入減 他

カプロラクタムスプレッド(製品と原料の値差)縮小 他

販売数量増 他

自社医薬品 売価改訂・数量減 他

セメント国内販売数量増、生コン販売数量増 他

成形機出荷増、固定費減 他

IPP収入減、石炭取扱数量減 他

(注)営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

## [参考]連結主要指標

(単位:億円、倍、%、人)

項目	前年第2四半期 (H24.4~H24.9)	当第2四半期 (H25.4~H25.9)	平26年3月期 <予想>	前年通期 (H24.4~H25.3)
設備投資	173	125	380	409
減価償却費	154	158	325	313
研究開発費	69	69	145	140
事業利益	173	99	270	321
有利子負債残高	2,496	2,460	2,400	2,466
純有利子負債残高	2,172	2,183	2,100	2,106
自己資本	2,050	2,356	2,370	2,155
総資産	6,699	6,831	7,000	6,858
ネットD/Eレシオ(倍)	1.06	0.93	0.89	0.98
自己資本比率(%)	30.6	34.5	33.9	31.4
売上高営業利益率(%)	5.2	2.9	4.0	4.8
総資産事業利益率(%)	-	-	3.9	4.8
自己資本当期純利益率(%)	-	-	5.5	4.0
従業員数(人)	11,202	11,309	11,300	11,090



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日  
上場取引所 東・福

上場会社名 宇部興産株式会社  
 コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 道夫  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 徳光 真介 (TEL) 03-5419-6110  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	310,801	0.0	9,077	△43.9	6,741	△54.1	6,677	△21.1
25年3月期第2四半期	310,775	△0.3	16,188	△28.5	14,676	△29.2	8,461	△30.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,713百万円 (△18.2%) 25年3月期第2四半期 10,656百万円 (△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.54	6.53
25年3月期第2四半期	8.42	8.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	683,138	258,660	34.5
25年3月期	685,884	250,753	31.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 235,683百万円 25年3月期 215,509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	647,000	3.4	26,000	△13.2	19,500	△30.5	12,500	51.2	12.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	1,062,001,076株	25年3月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,229,047株	25年3月期	3,756,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	1,020,393,488株	25年3月期2Q	1,005,348,204株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成25年11月1日（金）・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(2) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州では低迷が続き、アジアでも中国で景気の拡大テンポが減速するなど、世界経済は力強さを欠きました。一方国内経済は、復興需要の本格化に加えて円安による輸出改善効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられたものの、依然として不透明な環境が続きました。

当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画「Change & Challenge - 更なる成長に向けて -」において、3つの基本方針「持続的成長を可能にする収益基盤の強化」「グローバルでのグループ力の最大化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」を掲げ、構造的な事業環境の変化にもスピード感を持って対応すべく、各事業課題の解決に向けて取り組んでまいりましたが、いまだその成果が出るには至っていません。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ2千6百万円増の3,108億円、連結営業利益は71億1千1百万円減の90億7千7百万円、連結経常利益は79億3千5百万円減の67億4千1百万円、連結四半期純利益は17億8千4百万円減の66億7千7百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第2四半期	3,108億円	90億円	67億円	66億円
前年同期	3,107億円	161億円	146億円	84億円
増減率	0.0%	△43.9%	△54.1%	△21.1%

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### 化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、中国での相次ぐ他社新設備稼働開始に伴う供給過剰により市況の低迷が続くとともに、タイ国工場における設備トラブル等もあり出荷が減少しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も、ナフサ市況が高止まりする中、原料であるブタジエン市況の大幅な下落に連動し製品価格が低下したため、採算が悪化しました。ナイロン樹脂、工業薬品は総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ3億8千6百万円増の1,097億5千7百万円、連結営業損益は59億8千3百万円減の20億9千3百万円の損失となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	1,097億円	△20億円
前年同期	1,093億円	38億円
増減率	0.4%	—

#### 機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用の電池材料については、電解液の出荷が前年同期比で減少に転じ、またセパレーターは出荷が伸長したものの大幅な価格の下落に見舞われました。ファインケミカル製品や電子情報材料分野をはじめとするその他の機能性材料は、需要回復傾向にある製品が見られるものの、出荷は依然として低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ1億円減の320億4百万円、連結営業利益は13億7千7百万円減の4億8千7百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	320億円	4億円
前年同期	321億円	18億円
増減率	△0.3%	△73.9%

#### 医薬セグメント

自社医薬品の原体の販売については、特許期間が満了した製品もあり、出荷は前年同期を下回り、また受託医薬品の原体・中間体の販売も低調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ1億3千万円減の4億6千2百万円、連結営業利益は1億4千万円減の4億8千8百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	4億1千万円	4億円
前年同期	5億6千万円	1億9千万円
増減率	△26.9%	△74.9%

#### 建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品は、復興需要が本格化するとともに公共投資が堅調に推移し、マンション・住宅着工も持ち直してきたことから、出荷が前年同期を上回り、輸出採算も改善が進みました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の出荷は、鉄鋼、電子情報材料向け需要の低迷により低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ5億7百万円増の1,069億4千2百万円、連結営業利益は2億2千9百万円増の6億8千2百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	1,069億円	68億円
前年同期	1,015億円	45億円
増減率	5.3%	48.9%

#### 機械・金属成形セグメント

堅型ミルや運搬機等の産業機械は、国内外メーカーとの価格競争の激化等により厳しい受注状況が続いており、出荷が前年同期を下回りましたが、自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、日系ユーザーの新興国・北米向け新設、増設案件を中心に出荷が好調でした。機械サービスも堅調に推移し、また、製鋼品は受注環境が厳しい中、出荷は堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ4億7千3百万円増の3億48億3千8百万円、連結営業利益は7億6千万円増の2億3千9百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	3億48億3千8百万円	2億3千万円
前年同期	3億43億3百万円	1億6千万円
増減率	1.4%	46.6%

#### エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の売上数量が配船時期のずれにより減少し、また、預り炭も主要顧客の電力会社で石炭火力発電所の定期検査が行われたことなどにより、コールセンター（石炭中継基地）での取扱い数量が前年同期を下回りました。電力事業は、IPP発電所の定期検査及びその後の設備トラブルにより売電量が大幅に減少しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ7億8千6百万円減の2億77億5千9百万円、連結営業利益は2億7千7百万円減の6億2千2百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	2億77億5千9百万円	6億円
前年同期	3億54億4百万円	2億6千万円
増減率	△21.7%	△77.0%



## その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ15億3千5百万円増の139億1千9百万円、連結営業利益は1千2百万円増の4億5千4百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	139億円	4億円
前年同期	123億円	4億円
増減率	12.4%	2.7%

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は前年度末に比べ、商品及び製品などのたな卸資産が95億1千7百万円、有形固定資産が15億8千7百万円、投資その他の資産が17億5千2百万円増加した一方、現金及び預金が81億3千9百万円、受取手形及び売掛金が64億5百万円減少したことなどにより、27億4千6百万円減少し6,831億3千8百万円となりました。

負債については、未払法人税等が30億5千6百万円、その他の流動負債が60億2百万円減少したことなどにより、106億5千3百万円減少し4,244億7千8百万円となりました。

純資産は、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換により完全子会社化したことなどにより、少数株主持分が122億8千5百万円減少し、資本剰余金が99億2千4百万円増加しております。また剰余金の配当により利益剰余金が50億3千5百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が66億7千7百万円増加、為替換算調整勘定が91億7千万円改善したことなどにより、79億7百万円増加し2,586億6千万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、国内の景気回復が期待されるものの、中国経済の先行きなど、世界景気の下振れも懸念され、事業環境は予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

こうした情勢を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成25年9月30日に公表しましたとおり、売上高6,470億円、営業利益260億円、経常利益195億円、当期純利益125億円を見込んでおります。

### (4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績について、平成25年9月30日に公表しました業績予想と下記のとおり差異が生じております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,130億円	80億円	50億円	50億円	4円90銭
実績値(B)	3,108億円	90億円	67億円	66億円	6円54銭
増減額(B-A)	△22億円	10億円	17億円	16億円	
増減率	△0.7%	12.5%	34.0%	32.0%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,107億円	161億円	146億円	84億円	8円42銭

#### (差異の生じた理由)

徹底したコスト削減等の収益改善努力に加え、営業外損益も改善したため、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前回発表予想を上回りました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （2）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、ウベ・ケミカル・ヨーロッパ、エスエーほか10社については連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月の損益については、利益剰余金に直接計上するとともに、キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の期首残高の調整項目として計上し、「関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）」に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,280	28,141
受取手形及び売掛金	143,223	136,818
商品及び製品	36,272	39,583
仕掛品	19,142	21,252
原材料及び貯蔵品	26,340	30,436
その他	26,649	25,087
貸倒引当金	△507	△474
流動資産合計	287,399	280,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,276	86,979
機械装置及び運搬具（純額）	131,815	139,853
土地	85,099	85,371
その他（純額）	18,527	13,101
有形固定資産合計	323,717	325,304
無形固定資産		
その他	4,876	5,318
無形固定資産合計	4,876	5,318
投資その他の資産		
投資有価証券	40,786	44,006
その他	30,056	28,539
貸倒引当金	△1,076	△1,027
投資その他の資産合計	69,766	71,518
固定資産合計	398,359	402,140
繰延資産	126	155
資産合計	685,884	683,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,247	83,146
短期借入金	102,559	101,263
コマーシャル・ペーパー	1,999	9,999
1年内償還予定の社債	100	120
未払法人税等	5,897	2,841
賞与引当金	7,117	7,105
その他の引当金	1,221	1,164
その他	48,796	42,794
流動負債合計	250,936	248,432
固定負債		
社債	30,000	40,080
長期借入金	110,390	93,242
退職給付引当金	6,544	6,459
その他の引当金	4,836	3,660
負ののれん	1,461	1,321
資産除去債務	1,174	1,187
その他	29,790	30,097
固定負債合計	184,195	176,046
負債合計	435,131	424,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,465	38,389
利益剰余金	135,981	136,361
自己株式	△776	△890
株主資本合計	222,105	232,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,436	3,108
繰延ヘッジ損益	△278	△136
為替換算調整勘定	△8,754	416
その他の包括利益累計額合計	△6,596	3,388
新株予約権	508	526
少数株主持分	34,736	22,451
純資産合計	250,753	258,660
負債純資産合計	685,884	683,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	310,775	310,801
売上原価	256,095	262,192
売上総利益	54,680	48,609
販売費及び一般管理費	38,492	39,532
営業利益	16,188	9,077
営業外収益		
受取利息	283	245
受取配当金	347	311
受取賃貸料	608	537
負ののれん償却額	67	63
持分法による投資利益	556	342
その他	2,527	1,568
営業外収益合計	4,388	3,066
営業外費用		
支払利息	1,903	1,573
賃貸費用	527	364
為替差損	605	84
その他	2,865	3,381
営業外費用合計	5,900	5,402
経常利益	14,676	6,741
特別利益		
固定資産売却益	134	64
投資有価証券売却益	116	—
補助金収入	50	—
事業譲渡益	264	—
負ののれん発生益	65	2,841
特別利益合計	629	2,905
特別損失		
固定資産処分損	762	480
投資有価証券売却損	3	5
持分変動損失	213	—
減損損失	138	83
投資有価証券評価損	28	27
設備停止に係る損失	—	537
特別損失合計	1,144	1,132
税金等調整前四半期純利益	14,161	8,514
法人税等	5,607	2,269
少数株主損益調整前四半期純利益	8,554	6,245
少数株主利益又は少数株主損失(△)	93	△432
四半期純利益	8,461	6,677

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,554	6,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△763	673
繰延ヘッジ損益	△38	145
為替換算調整勘定	2,863	934
持分法適用会社に対する持分相当額	40	716
その他の包括利益合計	2,102	2,468
四半期包括利益	10,656	8,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,598	9,567
少数株主に係る四半期包括利益	58	△854

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,161	8,514
減価償却費	15,417	15,829
減損損失	138	83
負ののれん償却額	△67	△63
負ののれん発生益	△65	△2,841
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△216	△113
受取利息及び受取配当金	△630	△556
支払利息	1,903	1,573
為替差損益 (△は益)	△15	170
持分法による投資損益 (△は益)	△556	△342
固定資産売却損益 (△は益)	△164	△81
売上債権の増減額 (△は増加)	4,875	9,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,969	△7,373
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,063	△2,570
その他	1,644	△752
小計	26,393	20,597
利息及び配当金の受取額	1,452	1,030
利息の支払額	△2,044	△1,635
補償金の受取額	676	907
法人税等の支払額	△7,484	△5,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,993	15,851
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△18,476	△18,857
有形固定資産の売却による収入	362	94
投資有価証券の取得による支出	△1	△104
投資有価証券の売却による収入	39	7
関係会社株式の取得による支出	△4,341	△2,694
関係会社株式の売却による収入	4,021	7
短期貸付金の増減額 (△は増加)	142	△34
その他	62	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,192	△21,790
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△32	△1,951
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△0	8,000
長期借入れによる収入	12,427	4,719
長期借入金の返済による支出	△16,798	△21,581
社債の発行による収入	14,925	10,053
社債の償還による支出	△15,000	—
少数株主からの払込みによる収入	9,663	—
配当金の支払額	△5,047	△5,048
少数株主への配当金の支払額	△1,081	△390
その他	△776	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,719	△6,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△701	△11,855
現金及び現金同等物の期首残高	33,107	35,962
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	327
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	3,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,406	27,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、連結子会社である宇部マテリアルズ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が9,924百万円、自己株式が114百万円それぞれ増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が38,389百万円、自己株式が890百万円となっております。



(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	102,732	30,113	5,692	99,124	33,696	28,386	11,032	310,775	—	310,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,639	1,991	—	2,411	669	7,059	1,352	20,121	△20,121	—
計	109,371	32,104	5,692	101,535	34,365	35,445	12,384	330,896	△20,121	310,775
セグメント利益 (営業利益)	3,890	1,864	1,948	4,582	1,631	2,699	442	17,056	△868	16,188

(注1) セグメント利益の調整額△868百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△837百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	103,312	29,698	4,162	104,312	34,344	22,518	12,455	310,801	—	310,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,445	2,306	—	2,630	494	5,241	1,464	18,580	△18,580	—
計	109,757	32,004	4,162	106,942	34,838	27,759	13,919	329,381	△18,580	310,801
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は損失 (△))	△2,093	487	488	6,821	2,391	622	454	9,170	△93	9,077

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△93百万円には、セグメント間取引消去48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設資材」セグメントにおいて、当社を株式交換完全親会社とし、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、負ののれん発生益を2,841百万円計上しております。